

V. 次世代育成プロジェクトについて

2. フォーラムにふさわしいテーマ、希望する開催形態 (Q18)

テーマとして「北方領土に対する国民の意識や関心を高める方法」、「北方領土問題の解決方法、解決のための糸口、妥協案」、「元島民や後継者の意見、思い」などが多く挙げられた。

Q18. 参加の有無を問わず、フォーラムで話し合った方が良いと思うテーマや、希望する開催形態などがあれば、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

意見	件数
話し合った方が良いと思うテーマ	257
国民の北方領土に対する意識・関心・認知を向上させる方策案	66
<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土から遠い方にどうやって興味を持ってもらえるか。北方領土問題を分かりやすく伝える方法。北方領土を返還したら起きるメリット・デメリット。いろいろな方の北方領土に対する意見を聞いてみたい ・若い人が北方領土問題をどう思っているのか（活動に参加してもらうにはどうすればよいのか）。パネルディスカッションなど、いろいろな立場の人の意見や現状が聞きやすいフォーラムがよいと思う ・北方領土がすぐ返還されることは難しいかもしれないけれど、まずは、より多くの人にもっと詳しく、正しい情報や知識を身につけてもらうために、何をすることが最善か話し合うべきだと思う ・若年層があまり関心を持っていないのは何故か？また、それを改善するためにはなにをするべきか？どのような活動をしていくべきか？ ・若年層が、北方領土問題について関心を持ってもらうにはどうするべきか。国民ひとりひとりは何ができるか ・テーマ：どのくらいの人（若者）が問題について興味を持っているのか。どうしたら興味を持ってもらえるのか。最終目標について ・それぞれの年代が、この先、どんなことをしていくのがよいか。どうしたら領土問題を全国の人に知ってもらえるか 	
北方領土問題の解決方法・解決のための糸口・妥協案	55
<ul style="list-style-type: none"> ・「共生」は可能だと考えるか（日本人とロシア人の）。「共生」していく上での問題点・不安な点。どういう状態が北方領土問題の解決といえるのか、何を目標にしていくのか ・現実的な妥協点を元島民や遺族はどのように考えているのか。また、どのような条件なら妥協できるのか。2島分割案、買取案など ・日本とロシアの両国がお互い納得のいく解決法はあるのか（答えがなくても、様々な考えと伝え合えたらよいと思う） ・北方領土返還へのロシアとの交渉において、ロシアの案に日本は妥協して受け入れるべきか否か ・領土を返してもらうのではなく、共に住むことを話すのが良いと思う ・「全島返還の実現性」をテーマにするとよい ・両国が納得する形で問題を解決するにはどうしたらいいか ・返還運動のあり方について。平和的解決に向けた活動の取り組みと方法について 	
元島民、四島在住ロシア人の意見や思い	32
<ul style="list-style-type: none"> ・元島民がロシアに対して思うこと、若い人にどう方法で広めていくか ・元島民の方から新しい時代を生きる私たちに、いろいろお話をお聞きしたい。中学生や高校生で「今の考え」をインターネットを通じて発信していきたい ・元島民の方と現存住んでいるロシア人がどう思っているかということ ・現地の人々の思いをどのようにすれば多くの人に伝えることができるか ・元島民が持つ思い、気持ちをはっきりと残る方法でとっておく ・元島民の現実、体験を次世代（10代～50代）に語り、領土問題解決に向けて、強い意志と情熱を継続させられるような会にしたい ・実際に北方領土に住んでいる（産まれた時から）ロシアの方と話す機会を設ける 	

V. 次世代育成プロジェクトについて

意見	件数
<p>北方領土問題経緯、歴史的背景や現状の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の現状（国でどのような動きがあるのか）。どうい運動（行事の開催や署名活動など）をしたら、どのような効果があったのかなど ・まず、どこが問題なのかをはっきりできるとよいと思う ・现阶段の北方領土の状況 ・北方領土の歴史 ・歴史背景 	22
<p>北方領土問題のこれからについて、今後の具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから島はどうなっていくのか。ロシアのことをどう思うか ・今後行っていく具体的な取り組み ・それぞれの年代が、この先、どんなことをしていくのがよいか。どうしたら領土問題を全国の人に知ってもらえるか ・日本側の交流事業への参加者は毎回変わる中、我々を受け入れる島側のロシア人にとっては、日本側からの質問の内容など毎回の同じ事の繰り返しとなり、マンネリ化してしまっているくらいがあるので、今後の新たな交流方法等のあり方についても話し合った方がよいか考える 	20
<p>啓発活動、署名活動について活発化させるための方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返還運動のための具体的な取組を、若年層と元島民後継者のどちらの意見も取り入れて、そこからその意見について、話を深めていくようにすればよいと思う ・返還運動の方法を若者が考え、発表を行う ・啓発活動のあり方：学校の授業での内容の充実、社会人への意識啓発 ・署名活動について ・より多くの署名をもらうために、これから工夫すること 	19
<p>返還後の島や人々の生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし北方領土を返還してもらえた時、そこに今住んでいるロシア人はどうするのかを話し合った方がよいと思う。もしも追い出すということになるなら、昔とは重みが違ってもいいが、同じことになってしまう気がする ・北方領土返還を求めるとすれば、現在、北方領土に居住しておられる方々の処遇をどうするのかということについて、一度話し合っておくとよいと思う ・北方領土が返還されるとして、今、領土に住んでいる人々はどうするのか ・返還後、現島民はどうするべきか ・以前、島民後継者の方とお話しをした際に、返還後に島に住むかと伺ったら、住むことはないと言われていたが、今もその気持ちは変わらないか。仮に住まないとして、島の活用するにはどのようにしていくべきか ・もし今、北方四島に移住できるとしたら、故郷へと戻ることをするのかどうかについて 	15
<p>北方領土返還の必要性や理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そもそもなぜ北方領土を取り戻す必要があるのか」この点について議論するのはいかがだろうか。「そもそも」を知る、学ぶ機会を通じて、問題に関心を持つ人を増やせるだろう ・「なぜ解決が難しいのか」という、至って普通のようなテーマがよいと思う。意外にもシンプルに考えた方が実際問題がより顕著に表れてくるのではないかと考える ・北方領土が返還されることの利点 	11
<p>日ロ間の関係・交渉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の有効支配、ロシア対策などを話し合う機会があると良いと思う ・ロシアの今の立ち位置について ・あなたがロシアと交渉できるのであれば、何を伝えるか 	10
<p>これまで実施した事業や取組についての成果や検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業に参加した学生の事業参加後に行った活動について（もし、行っていなかったらなぜ行かなかったのか） ・北方領土に関しての事業について、自分が体験したり、思ったことを話す ・これまで行ってきた事業のよい点と改善点 ・実際に自分が参加した事業で、これは多くの人に体験してもらいたいと思ったことについて ・過去にプログラムに参加した人が“同窓会”のように集まり、活動でうまくいっていること・いっていないことを共有したり、その後の考えの変化を伝えあったりする場がほしい 	5
<p>テーマに関するその他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の領土問題との比較 ・元島民の心のケアについて話し合ってみたらよいと思う 	2

V. 次世代育成プロジェクトについて

意見	件数
希望する開催形態	158
オンラインでの開催、配信	75
通常（対面）の開催、ワークショップ、意見交換会、勉強会	35
人数について	14
<ul style="list-style-type: none"> ・複数グループ ・大人数 ・少人数 ・小グループ 	
参加者について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・若者 ・ロシア人、四島在住のロシア人 ・国籍問わず、国際交流 ・誰でも参加できるようにする 	
コロナウイルスの感染対策を万全に	9
開催地について	7
<ul style="list-style-type: none"> ・地方 ・北方領土 ・47都道府県 ・道東地区 	
映像・ゲームなどを用いる	4
開催形態に関するその他意見	6
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人が積極的に意見が言える場にしてほしい ・「相手の意見を否定しない」など、ルールを決め、参加のハードルを低くするとよい ・意見が言いにくいような会でなければよい ・話し合いをしているところを見せよう ・近くの会場であれば、講演会などを聞きに行きたい ・自分は音楽をやっているので、音楽を使って交流を開催してみたい。音楽での交流はとても良いと思う 	
開催日について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・土日 ・長期休暇中、連休 	
その他（テーマ、希望する開催形態以外）の意見	2
元島民さんのご希望と政府の方針が最優先で尊重されたい	
現状を知ってもらうためにも大臣の立場を有効活用	